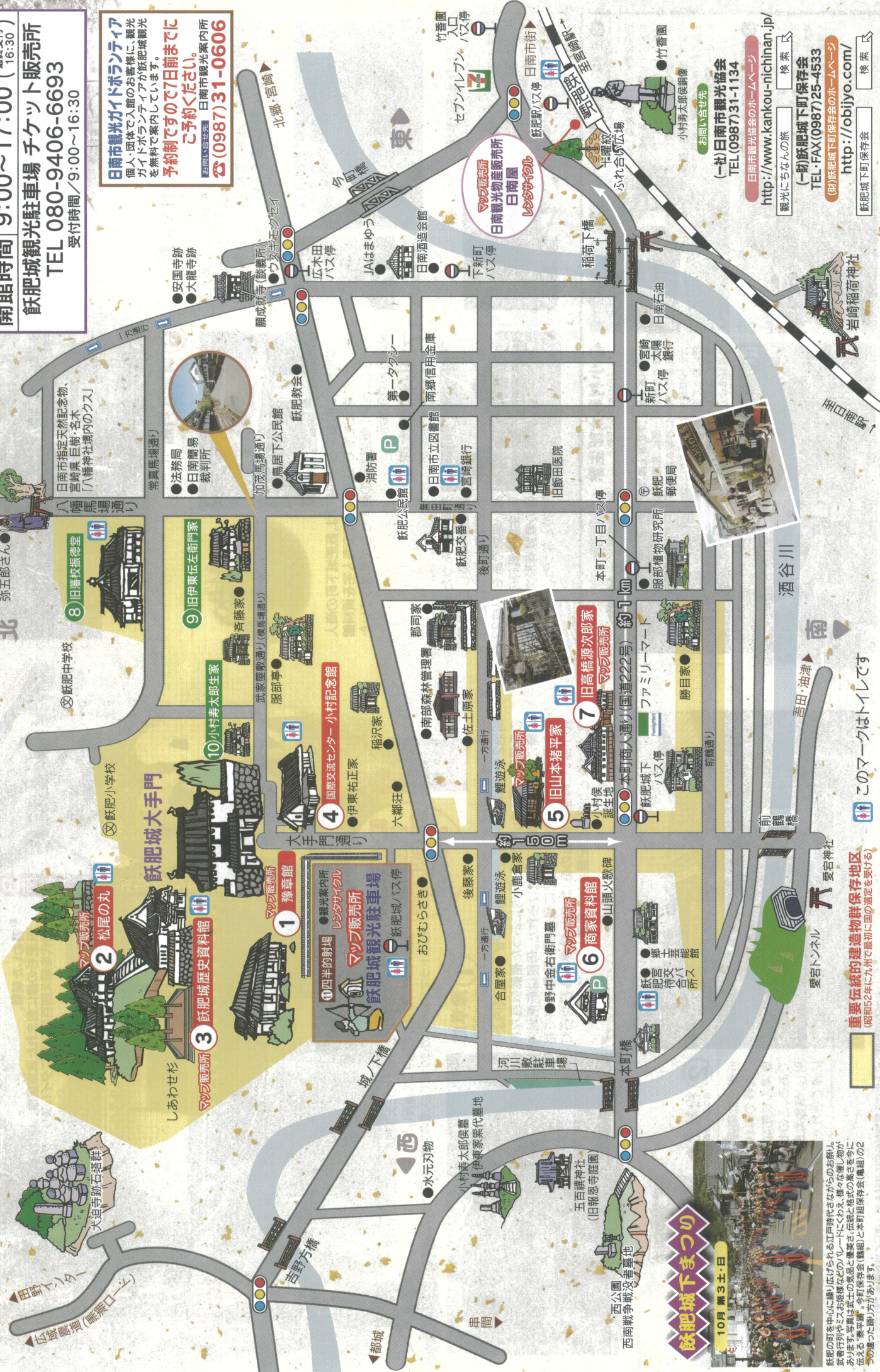


● 鉄肥城由緒施設(7館) ●

①～⑦ 番の施設は有料施設です
開館時間 9:00～17:00 (最終受付 16:30)
鉄肥城観光駐車場 チケット販売所
TEL 080-9406-6693
 受付時間/9:00～16:30

日南市観光ガイドボランティア
 個人・団体で入館のお客様に、観光ガイドボランティアが鉄肥城観光を無料で案内しています。
予約制ですので7日前までにご予約ください。
 日南市観光案内所
☎(0987)31-0606



鉄肥城下まつり

10月第3土日
 鉄肥の町を中心に繰り広げられる江戸時代ならではの豪華な武者行列は、大規模な祭りの一つ。旗や陣羽織が、色とりどりの武者の姿を飾り、伝統的な格好の揃った今に伝わる。奉納曲、寺町保存会(備前)と本町組保存会(備前)の2つの連つた祭り(万灯)があります。

重要伝統的建造物群保存地区
 (昭和55年に九州で最初に国の選定を受ける)

このマークはトイレです

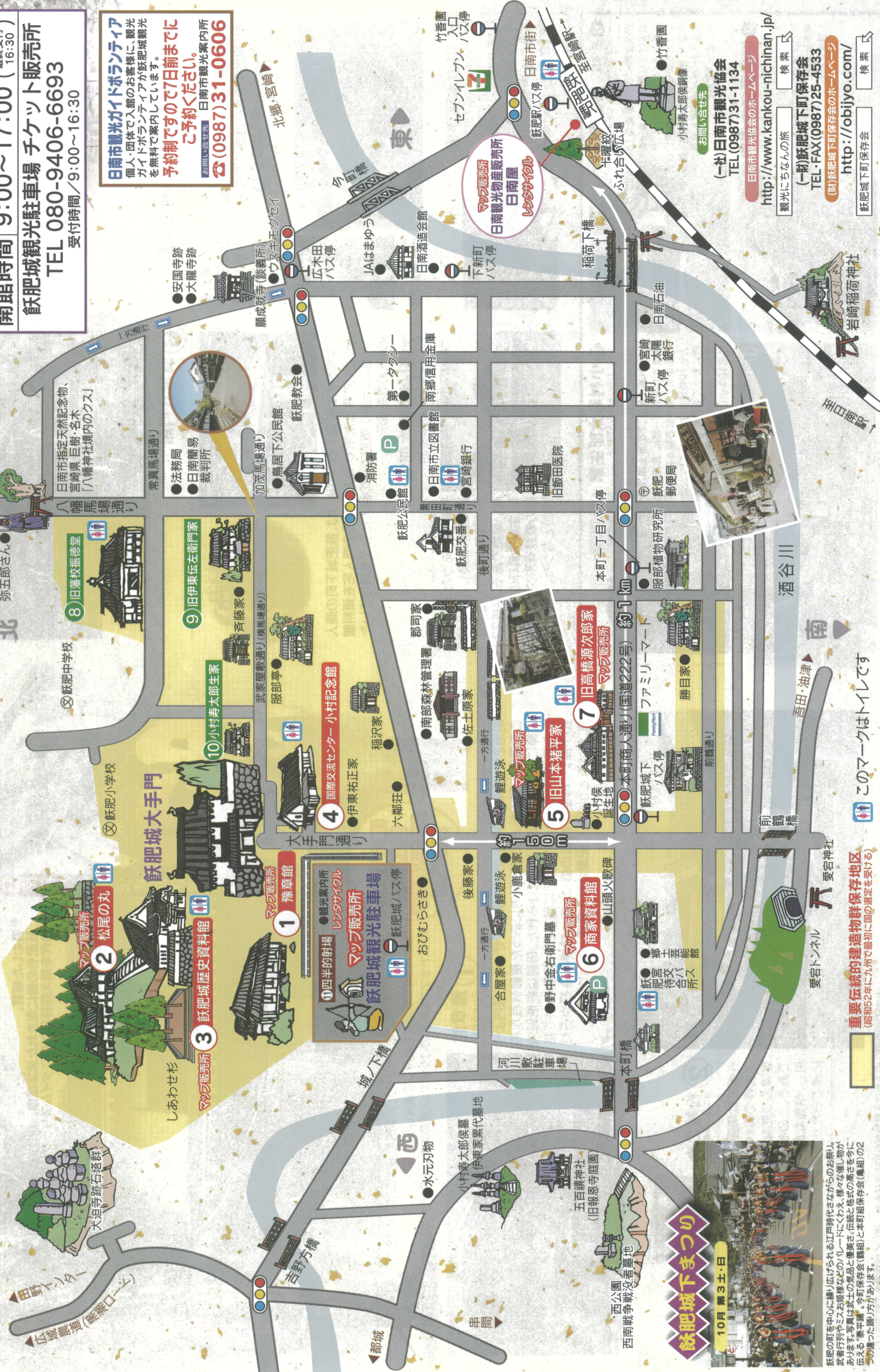
お問い合わせ先
 (一社)日南市観光協会
TEL(0987)31-1134
<http://www.kankou-nichinan.jp/>
 観光にちなんの旅 係業 係
 (一財)鉄肥城下町保存会
TEL・FAX(0987)25-4533
<http://objiyo.com/>
 鉄肥城下町保存会 係業 係

● 鉄肥城由緒施設(7館) ●

①～⑦ 番の施設は有料施設です
開館時間 9:00～17:00 (最終受付 16:30)

鉄肥城観光駐車場 チケット販売所
TEL 080-9406-6693
受付時間/9:00～16:30

日南市観光ガイドボランティア
個人・団体で入館のお客様に、観光ガイドボランティアが鉄肥城観光を無料で案内しています。
予約制ですので7日前までにご予約ください。
日南市観光案内所
☎(0987)31-0606



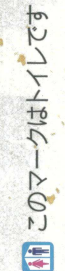
鉄肥城下まつり



10月第3土曜日

鉄肥の町を中心に繰り広げられる江戸時代さながらのお祭り。武者行列は土まの歴史を今に伝える。旗本屋敷は、今に伝わる。旗本屋敷は、今に伝わる。旗本屋敷は、今に伝わる。

重要伝統的建造物群保存地区
(昭和55年に九州で最初に国の選定を受ける)



このマークはトイレです

お問い合わせ先
(一社)日南市観光協会
TEL:(0987)31-1134
<http://www.kankou-nichinan.jp/>
観光にちなんの旅 係 業 込
(一財)鉄肥城下町保存会
TEL・FAX(0987)25-4533
<http://objiyo.com/>
係 業 込



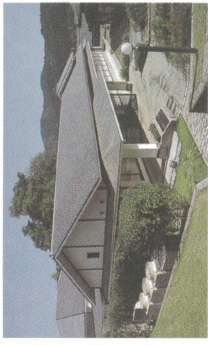
岩崎稲荷神社

③ 飢肥城歴史資料館

飢肥藩伊東家の城下町飢肥には多くの文化財が残されている。この貴重な文化遺産を保存し、公開するために昭和53年に開館した。現在、飢肥藩ゆかりの資料約220点が展示保管されている。
主な展示品は甲冑、刀剣、女乗り物(駕籠)、武器、古文書、衣服等である。

④ 国際交流センター 小村記念館

日本外交の礎を築いた明治の外交官・小村寿太郎侯の遺徳を顕彰し、国際交流、教育文化活動及び世界に飛躍する人材育成に寄与することを目的に設置された。小村侯の業績等を紹介した資料なども展示されている。



明治の外交官
小村寿太郎侯

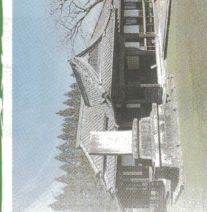
⑤ 旧山本猪平家

飢肥の商人・山本猪平が、明治40年頃に建築した商家の本宅で、建築当初の屋敷が残されている。



⑧ 旧蒲校 振徳堂

天保2年(1831)飢肥藩13代祐相公により開校され、孟子の教えにあたる「区從而振徳之」から振徳堂と名付けられた。教授には安井蒲洲、島軒頼子らを招き、基礎を固めた。小村寿太郎も振徳堂で学んだ一人である。



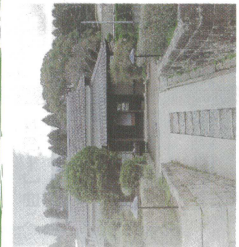
⑨ 旧伊東佐衛門家

この建物は天保12年頃の城下絵図では伊東佐衛門家とある由緒ある建物で、19世紀初めの建築と推定される。



⑩ 小村寿太郎生家

日本外交史に輝かしい足跡を残した小村寿太郎侯。その寿太郎侯が生まれた建物の一部は、生誕地から振徳堂の裏手に移築された後、大正10年現在位置に移された。日南市によって老朽化にともない、平成16年より公開されている。



⑪ 四半の射場

飢肥藩に伝わる半弓で、射場から的まで四間半、弓矢ともに四尺五寸、的が四寸五分で、すべて四半であることから四半的と呼ぶ。
四半の射場料
試射一人/10射...300円



指導員が丁寧に指導いたします。
紙の匂い出にどうぞ。

おび

宮崎県日南市 重要伝統的建造物群保存地区

香むした城壁
飢肥杉の縁に包まれた武家屋敷、
時代を超え四百年の昔にタイムスリッパ。

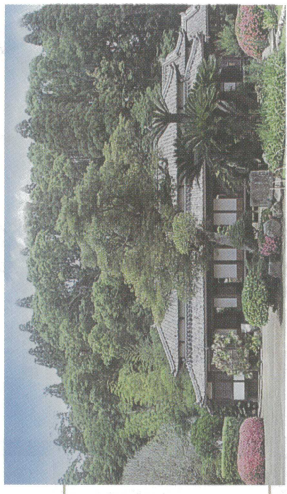


① 豫章館

明治2年、伊東祐帰が飢肥藩知事に任ぜられて城内よりこの屋敷に移った。その時、邸内にあつた樹齢数百年の大楠にちなんで豫章館と名付けられた。母屋は飢肥城内から移築された建物で、飢肥に残る古い屋敷の中で格式が高い。母屋の南面の庭は、広い空間に庭石や石灯笼、庭木などが巧みに配置された庭園となっている。

② 松尾の丸

飢肥城は周囲2.7kmの城内に松尾の丸、中の城、本丸等の郭(くるわ)を配した平城である。伊東、島津の攻防など、約500年におよぶ歴史ある城である。この松尾の丸は飢肥杉の100年杉を使用し、慎重な時代考証を重ね、昭和54年に新たに建てられた。



九州の小京都...飢肥城下町 伊東藩五万一千石の飢肥城跡



飢肥城 大手門
おびじょう おおてもん
明治4年(1870)に取り壊された大手門を、昭和53年(1978)に樹齢100年の飢肥杉を使用して復元した。
NHKドラマ"わかば"のロケ地で、人気のスポットのひとつ。

「食べあるき」
目撃券付の
お得な入館券が
人気です!!